

## 2 沖縄県景観評価システム本格運用に係る支援

### 2-1 支援全体スケジュール及び担当有識者について

本年度は、下表のように、道路4事業、公共建築1事業の支援を行った。全体スケジュールと担当有識者を以下に示す。支援の実施にあたり、有識者との日程調整等を行った。

事業名		事業位置	担当アドバイザー(敬称略)	1月	2月	3月
道路事業	道路①:勝連半島南側道路予備設計業務委託(H30) H30 繰越 契約工期 H30.08~R02.03 予備設計	うるま市	友寄 増山 ※昨年度から継続			
	道路②:R1 豊見城糸満線調査設計業務委託 R01 現年 契約工期 R01.09~R02.03 実施設計	豊見城市 糸満市	友寄 増山 ※昨年度から継続			
	道路③:県道20号線(泡瀬工区)修景設計業務委託 R01 現年 契約工期 R01.10~R02.03 実施設計	沖縄市	友寄 増山			
	道路④:平良下地島空港線修景設計業務委託 R01 現年 契約工期 R01.08~R02.02 予備設計	宮古島市	友寄 増山			
公共建築事業	営繕①:県営高原団地建替工事实施設計業務(第1期) R01 現年 契約工期 R01.12~R02.03 実施設計	沖縄市	伊良波 中島			

黒字:確定 赤字:未確定	1/20	1/21	2/14	2/21	2/26	2/27	2/27
	13:00-15:30	09:00-12:00	10:00-12:00	14:00-16:30	14:00-17:00	10:00-12:00	13:00-15:00
現地&中部土木事務所	現地&宮古土木事務所	沖縄県土地開発公社会議室	現地&高原団地集会所	県庁11F会議室	県庁11F会議室	県庁11F会議室	
(敬称略)	道路③第1回 アドバイス 会議	道路④第1回 アドバイス 会議	第1回 委員会	公共建築① 第1回 アドバイス 会議	道路① 第1回 アドバイス 会議	道路③ 第2回 アドバイス 会議	道路② 第1回 アドバイス 会議
学識者委員							
池田 孝之 (都市計画)			○				
友寄 孝 (道路)	○	○	○		○	○	
波多野 想 (観光景観)			○				

アドバイザー							
増山 晃太 (道路)	○	○			○	○	○
島谷 幸宏 (河川)							
皆川 朋子 (河川)							
神谷 大介 (河川)							
伊良波 朝義 (建築)				○			
中島 親寛 (建築)				○			

第1回委員会

第2回委員会

凡例

—	工期
●●●●	アドバイス
■ ■ ■ ■	委員会

## 2-2 道路事業に係る支援

以下の4事業について、担当事務所、有識者、事務局が参加するアドバイスメetingを開催し、景観検討のポイントや事業の進め方についてのアドバイスをを行った。

アドバイスメetingの開催概要は下表の通りである。

対象事業	アドバイスメeting 開催日時と議事録	会議の様子
<b>道路①:勝連半島南側道路予備設計業務委託(H30)</b> H30 繰越	令和2年2月27日 参考資料 02	
<b>道路②:R1 豊見城糸満線調査設計業務委託</b> R01 現年	令和2年2月26日 参考資料 03	
<b>道路③:県道20号線(泡瀬工区)修景設計業務委託</b> R01 現年	令和2年1月20日 参考資料 04	
	令和2年2月27日 参考資料 05	
<b>道路④:平良下地島空港線修景設計業務委託</b> R01 現年	令和2年1月21日 参考資料 06	

アドバイス会議実施後、景観評価委員会で指摘・助言等を受ける可能性のある内容を整理し、担当事務所にアドバイスを行った。なお、第1回景観評価委員会での確認状況を踏まえ、第2回景観評価委員会を確認する予定だった案件についてアドバイスを行った。

#### 【勝連半島南側道路予備設計業務委託（H30）について】

- 資料 P9、景観検討によりコストアップになったのかと指摘される可能性があるため、整理しておくことが望ましい。（線形見直し前と後などのコスト整理が難しい場合は、景観検討によりコスト減になった要素などは回答できることが望ましい。）
- 擁壁について、中景での視点場からの確認はあるが、近景からの視点場の確認資料がないため追加することが望ましい。（見えないということであれば、見えないことがわかる資料）
- 盛土区間を擁壁区間に変更し眺望ができる区間を増やしていることはよいことではあるが、連続的な視点で考えたときに、一部分であっても眺望を確保する効果があるのかどうかは確認することと指摘される可能性があるため整理しておくことが望ましい。
- 予備設計段階であれば、本来は景観チェックリスト C（設計段階）を作成することが必要である。（景観チェックリスト C（設計段階）の中で、詳細設計検討項目に該当するものは空欄で OK）

#### 【R1 豊見城糸満線調査設計業務委託について】

- 昨年度の豊見城地区でのアドバイス会議や景観評価委員会でのアドバイスの中には、糸満地区を含めた路線全体に関するものや、糸満地区でも豊見城地区と同様に検討が必要なものなどがあるが、その指摘事項と対応についてはどのようになっているか整理しておくことが望ましい。
- チェックリスト B 資料の P24、景観形成重点地区や商業エリア（3箇所）はどのような施設が整備される予定なのか、また事業スケジュールはどうなっているのか。商業エリア（特に北側2箇所）、道路（特に、川尻橋周辺）、まちなみミュージアムとの関係性（例：人や車・自転車の流れ、滞留空間、にぎわい、使い方等）についてどのように考えているかについて整理しておくことが望ましい。
- チェックリスト C 資料の P14、道路構造の違い（一般部・一般部～交差点部、交差点部）でわけているが、路線全体としてのゾーニングはどのように考えているのかについて整理しておくことが望ましい。（川尻橋以南との関係性も含めて）
- 川尻橋以外の豊見城区間・糸満区間は実施設計段階とのことだが、まだ具体のデザインや材料、樹種等が決まっていないが、今後、どのように検討して決定していくのか。また、検討結果に応じて、実施設計を見直すことができるのかについて整理しておくことが望ましい。

#### 【県道 20 号線（泡瀬工区）修景設計業務委託について】

- スケッチ等に表現されていないもの（例：通行止めゲート）があるが、出てくる附属物等はすべて表現した上で、全体の景としてどうなるのか、全体として色彩が整っているかなどを検討することと指摘される可能性がある。
- 照明の色温度について、グラデーションをつけることを検討しているが、人工島側の色温度はどのようになるか確認しているか、または想定しているか整理しておくことが望ましい。
- 沖縄に来る観光客は、南国ニヤシを本当に期待しているのか、考えたほうがよい。地域の特徴を出す視点から、この地域の植生とは何かを考えたほうがよいのではないかと指摘される可能性がある。（第1回景観評価委員会で平良下地島空港線で実際に指摘があった内容）
- 地元自治体である沖縄市とは調整しているのか指摘される可能性がある。

## 2-3 公共建築事業に係る支援

以下の1事業について、担当事務所、有識者、事務局が参加するアドバイス会議を開催し、景観検討のポイントや事業の進め方についてのアドバイスを行った。

アドバイス会議の開催概要は下表の通りである。

対象事業	アドバイス会議 開催日時と議事録	会議の様子
営繕①：県営高原団 地建替工事实施設 計業務(第1期) R01 現年	令和2年2月21日 参考資料07	

アドバイス会議実施後、景観評価委員会で指摘・助言等がされる可能性が内容を整理し、担当事務所にアドバイスを行った。

### 【県営高原団地建替工事实施設計業務（第1期）について】

- ・景観チェックリスト C（構想計画段階）（基本段階）についても整理しておくことが望ましい。（ただし、説明時間は限られるため、説明はポイントを絞って説明する）
- ・住棟配置の考え方や広場配置の考え方について整理しておくことが望ましい。
- ・余剰地の計画はどこまで進んでいるか、何ができるか、また余剰地と高原団地との関係性をどのように考えたかについて整理しておくことが望ましい。
- ・「13 対象の位置づけ」に記載されている『誰もが安心して心地よく暮らせる団地を計画する』が目標像のように読み取れるが、この目標像は高原団地でなくてもどこでも成立する目標像と指摘される可能性があるため、この場所の特性を盛り込んだ目標像を設定することが望ましい。
- ・また、『地域や周辺環境との調和を図る（以下ポツ3点含む）』や『誰にでも開かれた活力ある空間づくり（以下ポツ3点含む）』を、具体的にどのようにして実現しようとしているのかを指摘される可能性があるため整理しておくことが望ましい。
- ・住民が広場をどのように使いたいと要望しているか、およびそのために実施している工夫は整理しておくことが望ましい。
- ・関連事業の都市計画道路の検討状況、調整事項（歩道の舗装材の連続性など？）と調整状況について整理しておくことが望ましい。
- ・模型を製作しているのであれば、持参していただくことが望ましい。